

Verma, Regional Botanist, for encouragements and valuable suggestions.

* * * *

インドのキントラノオ科の研究中、今まで記録にない *Aspidopteris* の新種を見出したので、*A. Jainii* Srivastava と命名して報告する。

□熱帯植物研究会 (編) : 熱帯植物要覧 734 pp. 1984. 大日本山学会, 東京. ¥4,500. 熱帯には各種の作物, 香辛料, 果物, 野菜, 嗜好品などの食糧植物をはじめ林木, 竹, 繊維, ゴム, 樹脂, 薬料, 染料などから花類まで, 植物の種類は非常に多い。近年衣食住にわたっていろいろの熱帯植物やその製品が輸入され, 関心がますます高まってきているようである。しかし今まで熱帯植物に関する本といえば, 有用樹種, 作物, 薬用植物などのような個別のものや, いわゆる南洋材といったように地域的に狭いものばかりで, 全世界の熱帯植物を総括的に取り扱ったものは出版されていない。本書は広く熱帯地方に自生または栽培されている有用種をまとめたもので, 種類数 3,000 (文中の近似種を加えるとそれ以上) を収めている。内容は各種を分類順に配列し, 各科の中の種類は学名のABC順, 各種には和名, 学名, 地方名 (細かい地方まで), 分布, 性状, 特質, 用途が記載されている。執筆は元熱帯林業協会副会長の北野至亮氏が主となり 6 氏がそれぞれ専門分野を担当していて, 簡明で要領よい記述でぼう大な内容を新書版の便覧にまとめている。熱帯の植物資源を取り扱う者にとっては実に便利な書物で, ことに各国の地方名から簡単にその植物がわかることはありがたい。 (伊藤 洋)

□Carolus CLUSIUS : *Fungorum in Pannoniis observatorum brevis historia et codex Clusii* 247pp. 1983. Akadémiai Kiadó, Budapest. \$75. C. Clusius (1526-1609) はリンネ以前の有名なオランダ出身の植物学者で, ヨーロッパの植物をいろいろ調べ, いくつかの論文を発表している。ここにあげたものはそのうちの一つである “*Rariorum plantarum historia*” (1601) の中に含まれる菌類に関係した部分の複製である。これは Clusius がオーストリアで主におこなった仕事で, 菌類の水彩画87枚を中心としている。この水彩画は Clusius 自身と共に当時の画工が描いたものであるが, この本の基になっているものは永い間行方不明になっていた。それが Clusius の死後発見されて日の目を見ることとなったのである。巻末に Clusius に関して様々な研究者がいろいろな角度からコメントを記しているのは参考になる。 (井上 浩)